

## 東西自由通路の新設に伴う案内サインの整備の考え方（案）

平成 3 1 年 3 月

新宿ターミナル協議会

## 目次

1	整備の目的	1
2	整備対象箇所	2
3	東西自由通路の開通に伴う動線の見直し	
	(1) 東西自由通路内の乗換え動線	2
	(2) 地上部における動線	3
	(3) 地下部における動線	4
	(4) 指示サインの見直し対象箇所	6
4	整備の手法	
	(1) 更新の時期	9
	(2) 整備の役割分担	9
	(3) 整備方法	9

## 1 整備の目的

新宿駅における東西自由通路が、2020年頃に供用開始される見込みとなっている。これに伴い、公共交通機関における乗換え動線が変化することから、既存サインにおける表示内容の更新等が必要となる。

このため、各施設管理者が連携し、円滑な案内誘導ができるよう、サイン計画を見直し、整備を行うものである。



図 - 1 新設の東西自由通路の位置

## 2 整備対象箇所

整備の対象箇所は以下のとおりとする。

- ① 東西自由通路内における案内サイン
- ② 東西自由通路の開通に伴い、乗換え動線の指示方向が変更となる箇所の指示サイン
- ③ 全ての図解サイン

## 3 東西自由通路の開通に伴う動線の見直し

### (1) 東西自由通路内の乗換え動線

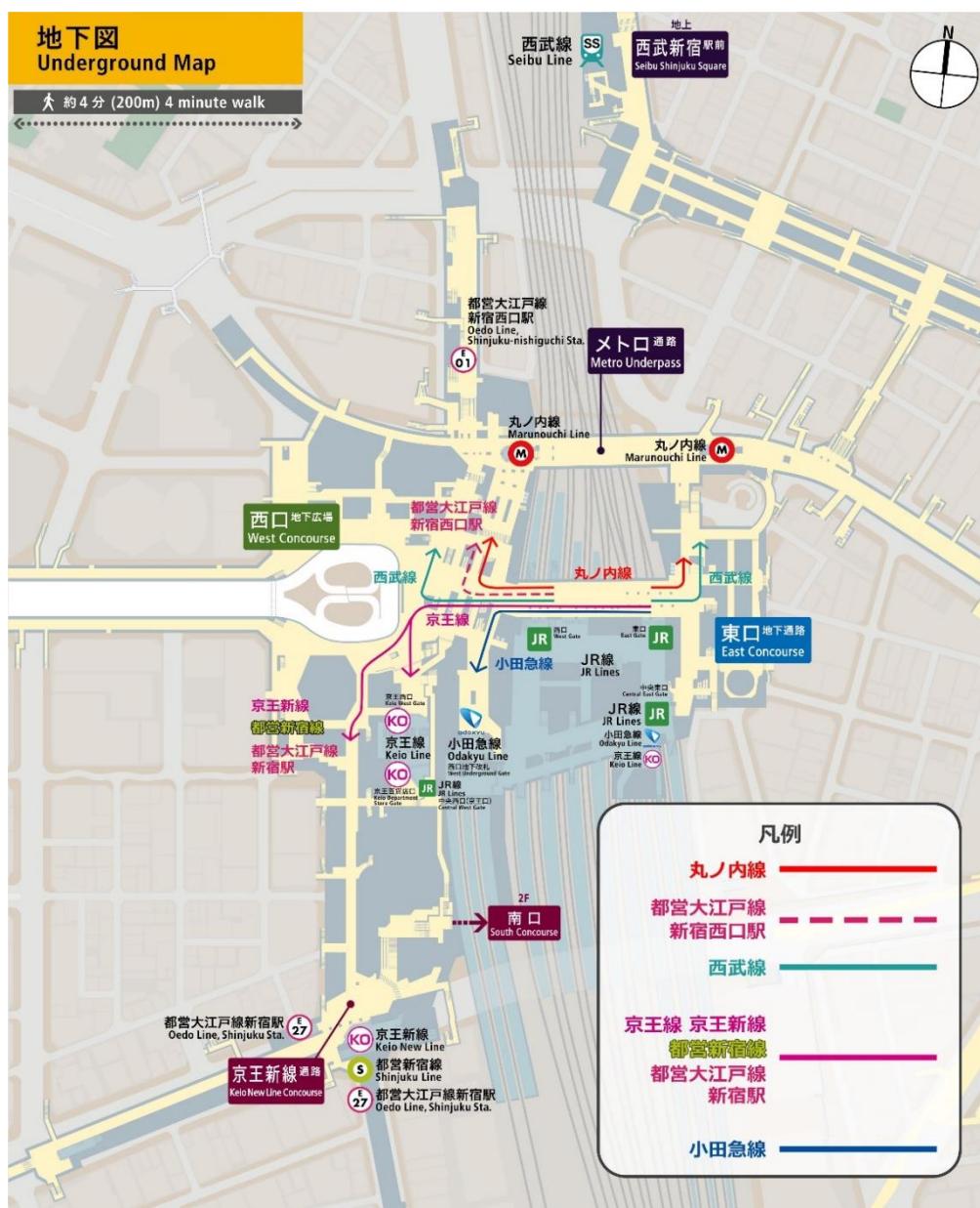


図 - 2 乗換え動線の振分け方法

## (2) 地上部における動線

東口から京王新線通路への動線について、以下のとおり変更が考えられる。

開通前



開通後



図 - 3 地上部の動線（東口から京王新線通路）



### (3) 地下部における動線

西口地下広場及び東口地下通路の動線について、以下のとおり変更が考えられる。

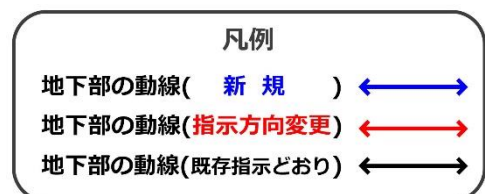
開通前



開通後



図 - 4 地下部の動線（西口地下広場及び東口地下通路）



東口地下通路から京王新線通路への動線について、以下のとおり変更が考えられる。

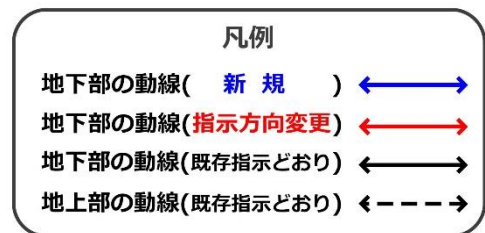
開通前



開通後



図 - 5 地下部の動線（東口地下通路から京王新線通路）



#### (4) 指示サインの見直し対象箇所

上記(2)、(3)の動線変更に伴い、以下の箇所について、指示サインの表示内容を見直す必要があると考えられる。

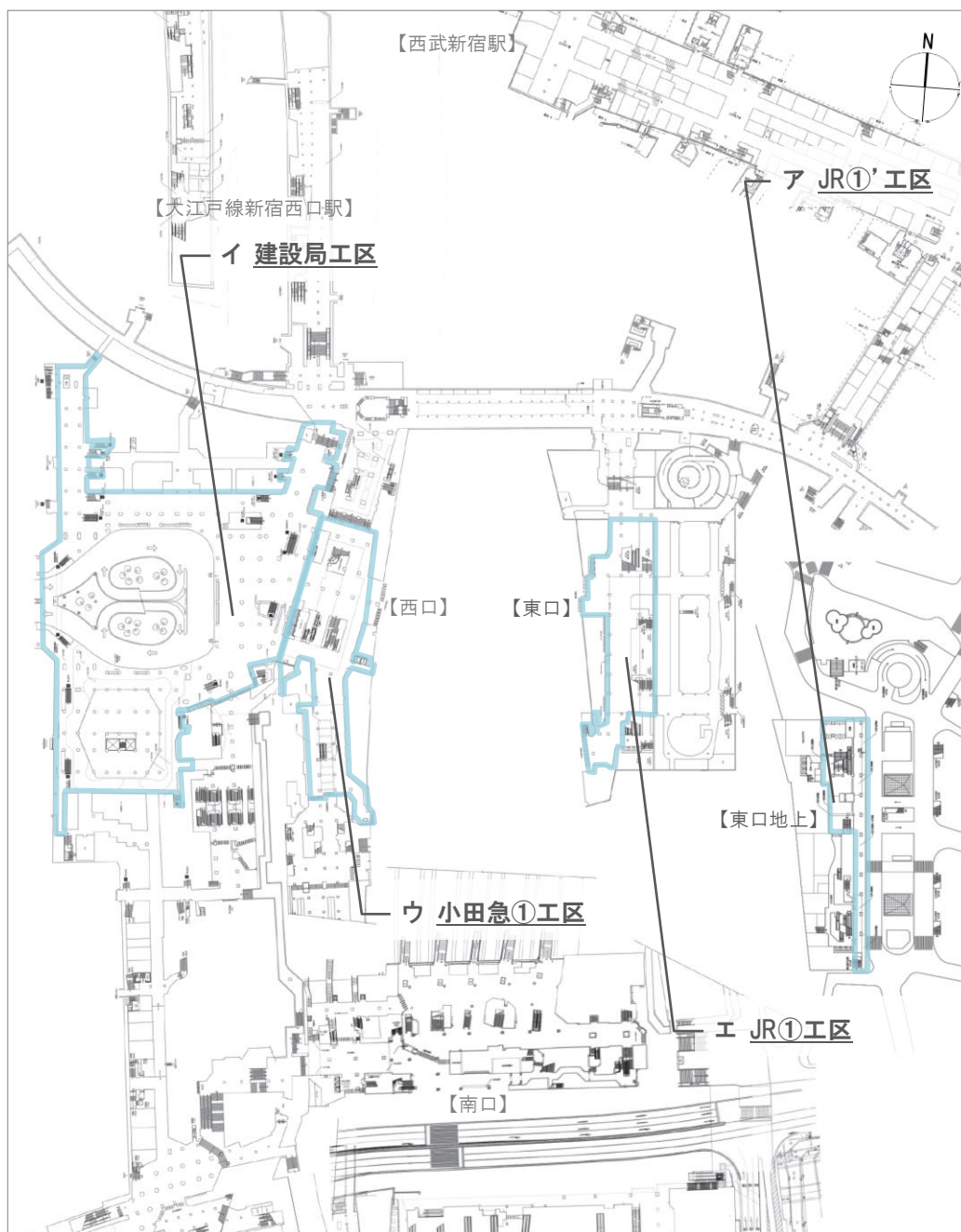


図 - 6 対象工区



ア JR①' 工区

京王新線通路の指示方向を変更

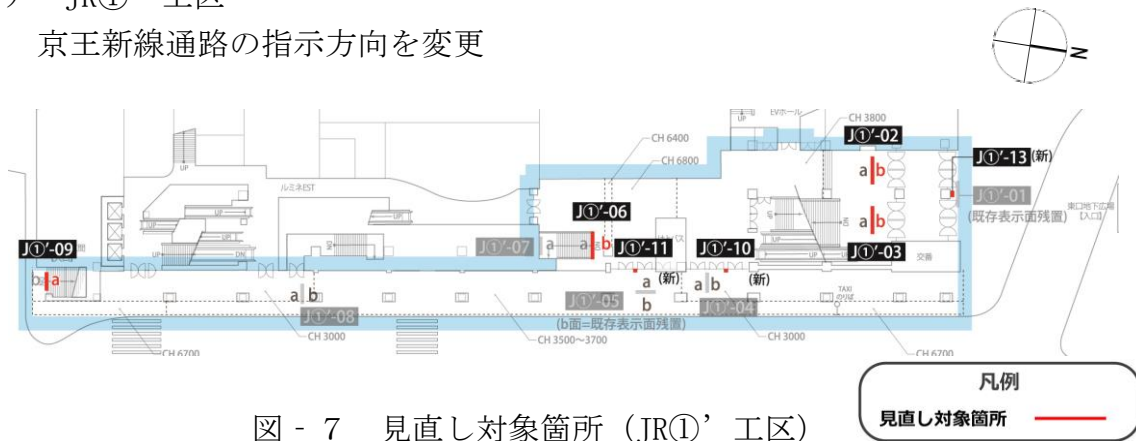


図 - 7 見直し対象箇所 (JR①' 工区)

イ 建設局工区

東口地下通路の指示方向を変更

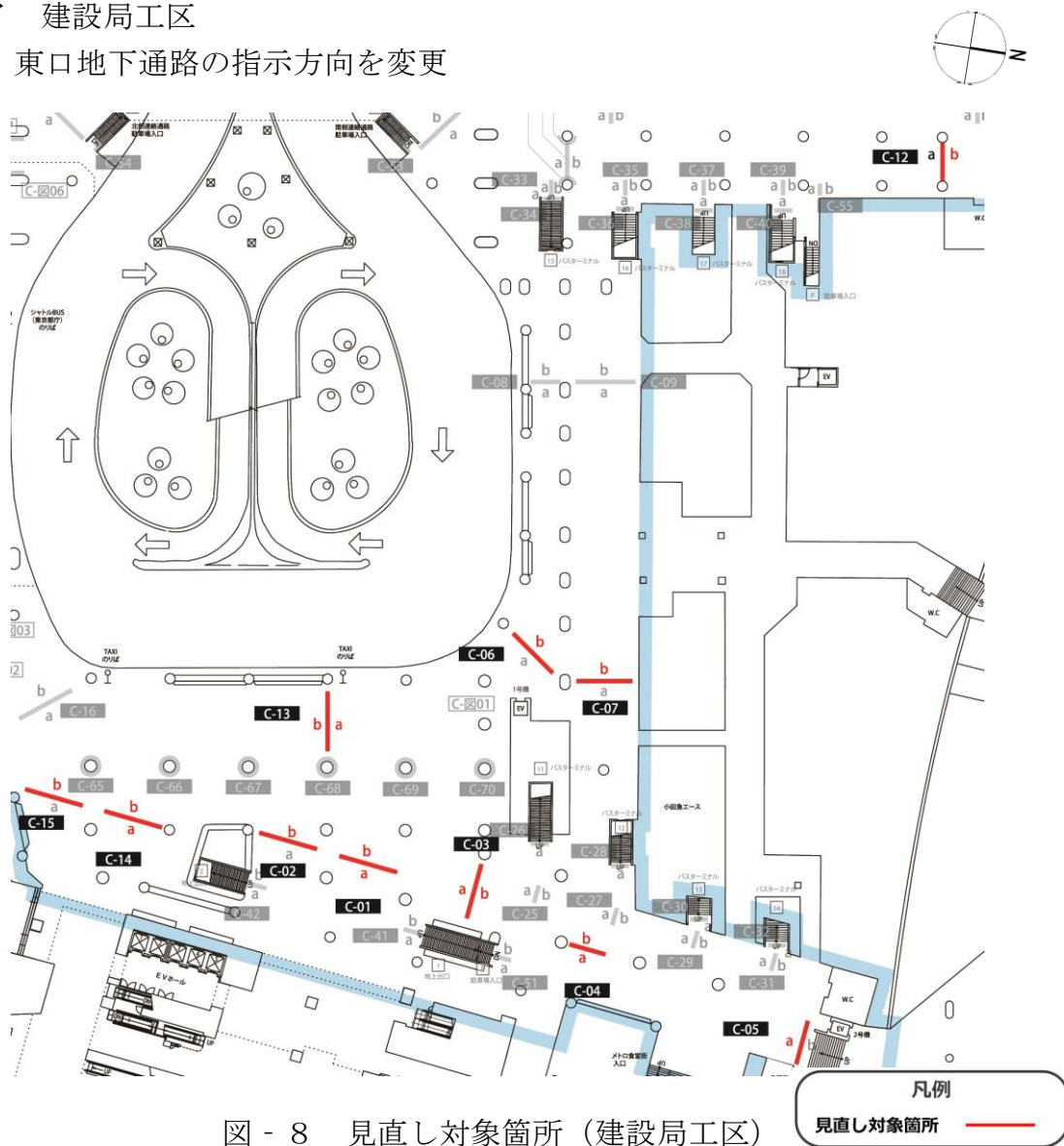


図 - 8 見直し対象箇所 (建設局工区)

ウ 小田急①工区

東口地下通路の指示方向を変更



図 - 9 見直し対象箇所 (小田急①工区)

エ JR①工区

西口地下広場及び京王新線通路の指示方向を変更

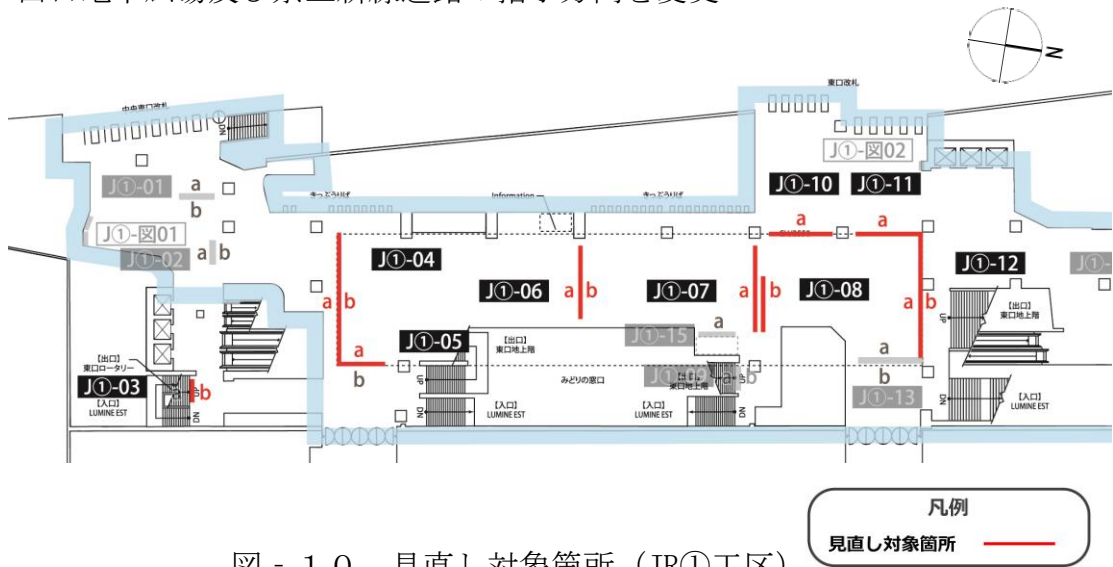


図 - 10 見直し対象箇所 (JR①工区)

#### 4 整備の手法

##### (1) 更新の時期

表示内容の更新の時期については、新設される東西自由通路の供用開始時期と合わせる。

##### (2) 整備の役割分担

整備対象となる案内サインについて、新宿ターミナル協議会でサイン計画として取りまとめた後、各管理者がサイン計画に基づき整備を行う。なお、整備に伴う費用は各管理者による負担とする。

##### (3) 整備方法

既存の案内サインの盤面取替、ステッカー貼付等の効率的な整備を原則とする。